

令和3年5月27日

厚生労働大臣 殿

慶應義塾大学 医学部
リハビリテーション医学教室
教授 辻 哲也

理 由 書

がんリハビリテーションの均てん化に資する効果的な研修プログラムの策定のための研究（H30-がん対策-一般-010）では、分担研究者・研究協力者を CAREER 運営委員会委員から主に構成される様々な専門家（がん治療医、リハビリテーション科専門医・療法士、看護師等）とし、がん診療やがんリハに関係する学協会と協力体制をとりつつ、がん患者の社会復帰や社会協働という観点を踏まえた、がんリハ研修プログラムを開発し標準化された研修プログラムとして全国の研修会で使用されることにより、がん患者が質の高いリハを受けられる体制を拠点病院等に普及させることを目的している。

本研究事業の主な内容は、がんのリハビリテーション研修およびリンパ浮腫研修のプログラム開発を行うことである。がんのリハビリテーション研修は、「がん患者リハビリテーション料」の算定要件を満たす研修会（CAREER 研修）として実施され、2日間（14時間）で座学9時間とグループワーク5時間から構成される。一方、リンパ浮腫研修は4日間（33時間）で座学のみから構成される。両者の座学部分の計42時間については、e-learning を部分的に導入した。

e-learning システムの構築にあたっては、医療系の e-learning システムの経験の豊富な専門業者数社にヒアリングを行った上で最適な業者を選定し、業務委託を行った。結果、委託費として支弁した2,400,000円はすべて、がんのリハビリテーション研修およびリンパ浮腫研修 e-learning システム構築のための経費として使用した。

以上